

段ボール加工用刃物に特化し、付加価値の高い製品を提供

昭和35年の設立以来、段ボール加工用刃物に特化したメーカーとしてノウハウを蓄積、鋼材などの材料を国内のメーカーや商社から仕入れ、鋼材を切断する工程から成形、熱処理、研磨仕上げまで全工程を一貫生産できる体制を構築してきた。製品の質だけに留まらず、多品種小ロットや短納期への対応など、顧客ニーズに沿った柔軟なモノづくりマインドも高い評価を得ている。また、段ボール加工用刃物製造に関する特許と商標登録を国内外で32件取得し、ユーザーにとって使いやすく付加価値の高い刃物製造を追求している。



金属加工
プラスチック加工
機械
部品部材
生活・環境

住所 | 〒570-0003 大阪府守口市大日町3-33-12
TEL | 06-6901-1221 FAX | 06-6905-9713
創業 | 昭和35年6月 設立 | 昭和35年6月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 43名
HP | <https://www.kinkihamono.co.jp/>



■主な事業内容
紙器・段ボール加工用刃物製造

■主な取引先（納品先）
段ボールメーカー、機械メーカーなど

極み

段ボール加工に専念し、ニッチな技術で市場を独走

段ボール加工刃物に特化して工程を強化。社内一貫生産で製品の安定供給を可能にし、多様化する段ボール箱製造現場を支える。製品は、取引先の設備に合わせてオーダーメイド。大きさ、形、材質を知り尽くした独自の技術ノウハウで、厚い信頼を集めている。

取り組み

地域の工業活性化に尽力。教育やスポーツへの支援も

阿形社長自身、守口市工業活性化推進協議会委員として地域の工業基盤の安定と強化に取り組む。また、地域の子どもたちへ向けた教育支援の実施や、「大阪エヴェッサ」のスポンサー企業としても活動。先代社長の頃より、日本赤十字社への寄付も継続して行っている。

今後の展開

加工技術の開拓と人材育成で高付加価値の製品開発に注力

現在の事業を基盤としつつ、小型の加工機械でも使用できる付加価値の高い製品の開発を目指す。また、段ボール加工用刃物を追究する中で派生した新たな技術を活用した、事業の立ち上げも計画中だ。合わせて人材育成にも注力し、未来への技術継承に努めている。

近畿刃物工業株式会社

WEBサイト



代表取締役
阿形 清信さん

笑って働き安心して眠るために、ワクワクと楽しめる環境を作る

当社の経営理念は、「笑って働ける会社、安心して眠れる会社」。その実現には、安定した収益体制の確立と、従業員の健康管理や仕事量の適正化が重要だと考えます。優れた製品づくりでお客さまにご満足いただけることは、ワクワクと楽しいものです。このような会社の雰囲気や文化は、変わらず大切にしていきたいと思っています。

今後も、顧客のニーズをよく把握し、付加価値の高いものづくりの実践を通じて新たな加工技術を繰り出し、顧客の満足度とともに従業員の満足度の向上を目指していく所存です。



同社の製品群



三菱製レーザー加工機



顧客ニーズに沿う刃物づくり

ポイント

福利厚生・働く魅力
職場環境

従業員が喜び
満足することで
顧客満足に繋がる



同社が福利厚生において重視するのは、「従業員がワクワク楽しんで仕事をするために、従業員の喜びにつながる投資を惜しまないこと」。恵方巻や家族全員分のクリスマスチキンの配布、社員旅行の実施など、従業員への手厚いサービスをさまざまな形でやっている。

作業効率向上のための機械の新設、熱中症対策としての遮熱塗装やブラインドの設置、腰痛防止の作業用チェア導入といった働きやすさを重視した職場環境の改善も特徴的だ。また、従業員の健康増進と活力向上を目的とした「健康経営宣言」を掲げ、検診の実施や禁煙セミナーの開催などにも積極的に取り組む。